

はじめに

日本共産党茨城県委員会と党地方議員団は8月2日、岸田政権が進める自衛隊基地の強靱化をめぐり、航空自衛隊百里基地（小美玉市）を視察しました。

自公政権のもとで、日本国憲法と相容れない敵基地攻撃能力の保有と日米軍事同盟の一体強化が進んでいます。今回の視察は、百里基地での大軍拡の実態を明らかに、広く告発することを目的に行われたものです。

全国で進む基地の強靱化は茨城も例外ではなく、「首都圏の防空をになう重要基地」と防衛省が認めるように、着々と機能強化が進められていることが分かりました。政府は、今後10年間で500億円規模の税金を百里基地に注ぎ込み、施設整備に取り組むとしています。その中身は戦闘機の隠ぺい施設の整備をはじめ有事を想定したものであり、茨城に戦火を呼び込む危険があるもので断じて容認できません。

日本共産党は、『専守防衛』をかなぐり捨て、北東アジア地域の軍事的緊張を高める百里基地の軍事拠点化に厳しく反対します。また日本政府に対し、憲法にもとづく対話による外交で地域の平和創出を強く求めるとともに、茨城県に対しては共同訓練をはじめ基地強化に反対するよう政府に促すこと、さらに基地の運用をめぐる徹底した情報公開を求めるよう要請します。

日本共産党茨城県委員会
日本共産党茨城県議団